

わんぱく相撲 流山場所



「わんぱく相撲」

子どもたちの心身の鍛錬と健康増進を図るとともに
地域コミュニティの活性化を目指す大会です。

【主催】公益財団法人日本相撲連盟、一般社団法人流山青年会議所

「わんぱく相撲」とは

わんぱく相撲の概要

わんぱく相撲は、小学4年生から6年生が参加し、日本国内200地区(主催青年会議所単位)の予選大会から勝ち上がり、東京・両国国技館で決勝にあたり全国大会が開かれる、小学生対象で最大規模の相撲大会のことです。

毎年4月からLOM(ロム)大会と呼ばれる、その地区ごとの予選大会が始まります。

LOM大会と呼ばれるのは、各地方の青年会議所が中心になって行われ、その地方青年会議所のことをLOM(ロム・Local Organization Member)と呼ぶためです。

LOM大会で勝ちあがると、ブロック大会と呼ばれる都道府県代表を決める最終予選大会が開かれます(都道府県によっては開かれませんが)。

ここで代表選手に選ばれると、東京の両国国技館、大相撲と同じ土俵の上で、各学年のトーナメント形式の取組が行われます。地方大会からの参加者は、約40,000人。まさに、日本の小学生力士の晴れ舞台なのです。



わんぱく相撲の開催意義と成果

- 「スポーツとしての相撲」を通じ、「礼」を学び、「努力する」ことや「思いやり」等、社会生活に必要な徳性の涵養の場を与えられる。
- 「わんぱく相撲全国大会」を開催することで子供たちに夢を与え、励みとることができる。
- 「明るい豊かな社会」作りを目指す各地青年会議所の基本的な理念であるコミュニティ(地域 社会)の形成という重要な役割を果たすと同時に「心豊かな青少年の育成」を強力に推進することができる。
- 「わんぱく相撲」は、今や全国に普及しており、社会開発運動・社会教育の一環として高く評価されている。

わんぱく相撲の歴史

「わんぱく相撲」は1976年に社団法人東京青年会議所(当時:現公益社団法人東京青年会議所)が実施した「東京・23区の魅力度・第2回都民生活意識調査報告書」に基づき、遊び場の少ない東京の子供達にスポーツの機会をより多く与え、心身の鍛練と健康の増進を目的として、身近に行えるスポーツである"相撲"をとりあげ、1977年に社団法人東京青年会議所が、23区全域に運動として展開したことに始まります。

その後、1981年に社団法人東京青年会議所が、財団法人日本相撲協会(当時:現公益財団法人日本相撲協会)と協力して、「わんぱく相撲の手引き」を作成のうえ、全国の市町村教育委員会並びに各地の青年会議所に無料配布し、全国への普及運動も並行して行ってまいりました。



2024年度「流山場所」について

日時	2024年5月19日 9:00~17:00
場所	千葉県流山市 GIP アルファリンク 4 体育館
事業内容	<p>GIPアルファリンク 4 体育館にて小学 4 年生から 6 年生の男子、女子を参加対象としたわんぱく相撲の大会を行います。</p> <p>地域の市民、民間企業、行政が団結し流山市他、近隣都市の小学生を集めて個人戦、団体戦での相撲を取り子供たちにチャレンジ精神や団体行動を身につけていただきます。</p>
実施背景	<p>近年流山市では人口が増えつづけ出生率も全国レベルで高水準となっていますが、核家族、共働き世帯の増加により子どもたちが一人で過ごす時間が多く孤立し孤独を感じています。</p> <p>孤独感の先にはチャレンジ精神や他人との交流する意欲が低下へとつながります。</p>
協力・後援団体	<ul style="list-style-type: none">・公益社団法人日本相撲連盟・流山市・流山市教育委員会・流山市青少年育成委員会・少年野球チーム・少年サッカーブース・流山子ども食堂ネットワーク
参加人数	<p>最大 210 名</p> <p>4 年生 70 名 (男:50 名 女:20 名)</p> <p>5 年生 70 名 (男:50 名 女:20 名)</p> <p>6 年生 70 名 (男:50 名 女:20 名)</p> <p>※流山市内の小学 4 年生から 6 年生までが対象</p>
参加費	1,000 円 (保険料、記念品代)
実施団体	一般社団法人流山青年会議所
広報活動	<ul style="list-style-type: none">・ SNS を利用した告知・ 流山市内の小学校にチラシの配布・ 近隣企業と団体にポスターの掲示